

■温室効果ガス削減の目標

	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (1,786トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

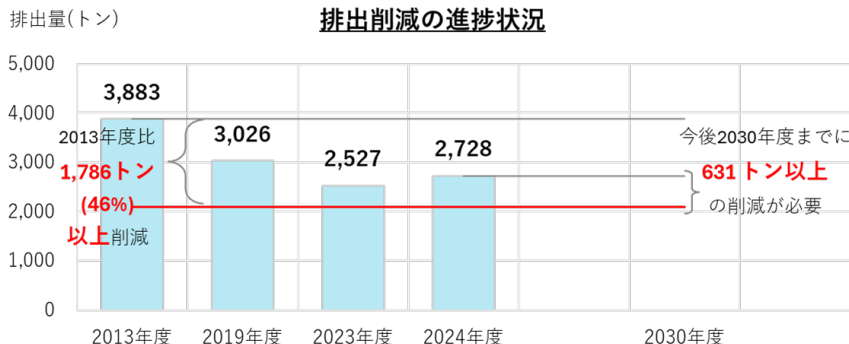
■温室効果ガス排出量の推移

高松空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比201トン増加の2,728トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後631トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	3,604	2,746	2,227	2,527
空港車両	279	280	300	202
計	3,883	3,026	2,527	2,728

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある

排出削減の進捗状況



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.528、2023年度：0.454、2024年度：0.464
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：497.9万、2023年度：469.7万、2024年度：522.3万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

高松空港では、2020～2024年度にかけて、施設整備は行われなかった。コロナ禍以降の空港の利用の回復がみられ、空港の利用 (航空機運航回数や旅客数) はコロナ前水準を上回った。商用電力使用量の増加、主に契約されている電力会社の排出係数上昇 (2023年度比) を主な背景として、温室効果ガス排出量が増加傾向にある。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 建築施設照明のLED化、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。 ➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 電動車の導入、電動TT車等の実証実験、バイオ燃料の活用が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)